特別授業依頼書

送付日　　年　　月　　日

名　称	**原爆先生の特別授業 中・高校・一般（都外の小学校含む）** NC2604		
実施者	特定非営利活動法人原爆先生　代表　池田 眞徳		
料　金	44,000 円＋ 西武新宿線東伏見駅を起点の往復交通費（宿泊必要時 18,000 円を加算） ＊開始時までに講師の当日移動ができない場合、および特別授業の終了後に講師の当日帰宅ができない場合は前日または当日の宿泊が必要です		
希望日 ＊第二希望日まで記載必須	第一希望	年　月　日（　曜日）　時　分から	
	第二希望	年　月　日（　曜日）　時　分から	
	第三希望	年　月　日（　曜日）　時　分から	
実施目的	一般授業　　修学旅行前授業　　その他（　　）		
時　間	110～120 分が必要（休憩時間を含む）		
学校名			
住　所	〒		
電話番号		FAX 番号	
担当者		担当者役職	
Ｅメール	＊できる限りＥメールアドレスをお知らせください		
準備をお願いするもの	当日は下記をご用意ください。用意できない場合は「連絡事項」に記載してください ●パソコン（パワーポイント必須） ●PC プロジェクターとスクリーン ●マイクとスピーカー ●受講者に椅子のご用意をお願いします。（体育座りでの受講はお断りします） 実施日の１５日前までに準備要領を記載した「最終確認書」をお送りします。		
受講予定数	名	年生　・保護者　・その他（　　）	
会場予定	＊猛暑期および厳冬期で空調設備がない会場（体育館等）はお避けください		
連絡事項	＊AGT（　　）		

お願い

●当面をコピーしてご記入いただき、ＦＡＸでお送りください。届き次第、当方から承諾書をＦＡＸでお送りします。
お申し込み後３日間を経過しても承諾書が届かない場合、当ＮＰＯ法人へ連絡をお願いします。

ＦＡＸ送付先：042-427-3009

中高校向け 原爆・戦争の対面特別授業

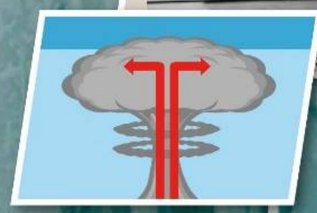
2,200校 以上の実績！

原爆先生の特別授業
7000℃の少年

専任講師による対面特別授業

前半
ハラハラ・ドキドキ緊張の **45分**

後半
非日常の知識を知る驚きと感動の **50分**



原爆・戦争を考える平和学習

広島・長崎への教育旅行（修学旅行）の事前学習

対面と映像の利点をハイブリッドした体感学習

ＮＰＯ法人原爆先生
〒202-0014 東京都西東京市富士町 4-13-25-1105　post@hiroshima9.com　https://www.hiroshima9.com/

特別授業の内容

爆心地で活躍する少年兵たちの物語は、2008年に池田眞徳が出版した
ノンフィクション小説「ヒロシマの九日間」(文芸社刊) から抜粋しました。

NHK、BBC、Getty、広島平和記念資料館の協力と許可を得たアーカイブ映像や画像を使用して構成しました。
これらの映像と画像は視聴者の心を惹きつけ、生徒たちを非日常の世界に体感させます。

＊特別授業の開始から約 15 分間の映像をホームページでご覧ください（本ページ右下に解説）

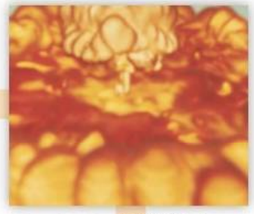
前半　原爆を模擬体感 ハラハラドキドキ 緊張の 45 分

当時１７歳の少年兵が、ヒロシマの爆心地に人類として初めて足を踏み入れ、被爆者を助け、原爆ドーム付近で死体の収容や焼却作業を仲間と一緒に行なう壮絶な実話です。
物語は生徒を非日常の世界に体感させます。

時代背景 (アーカイブ映像) ヒロシマに原子爆弾が投下された 1945 年頃の世界の状況は？　その時代背景を映像化しました

物語の主人公「義三」は、１７歳で陸軍特幹船舶兵に入隊した

義三を含めた 15 ～ 19 歳の少年兵たち九名はドラム缶にもたれてトラックを待っていた


その時、原子爆弾が爆発

少年兵たちは広島市民を救助しようとするが・・・

少年兵たちは、爆心地付近での被爆者救出に向かう

爆心地は何の色も無い、ただ灰色だけの世界だった

少年兵たちは、原爆ドーム近くの爆心地で救助活動を行うが・・・

後半　非日常の知識を知る 驚きと感動の 50 分

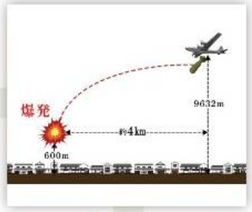
広島が原爆の投下都市に選ばれた経緯や、原爆を投下したＢ２９爆撃機エノラ・ゲイの軌跡、原爆の具体的な威力と被爆地の状況などを客観的に解説します。生徒たちは、原爆の恐ろしさやヒロシマの被害など、今まで知ることができなかった事実を学びます。

事業責任者　池田眞徳

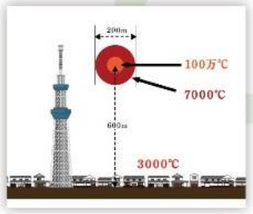
南太平洋にある小さな島テニアン島から B29爆撃機が飛び立った

原爆を投下しようとする都市は、広島・小倉・長崎だった

原子爆弾「リトルボーイ」の大きさや重さは？



B29爆撃機は、投下目標地点の４ｋｍ手前でリトルボーイを切り離した



原子爆弾リトルボーイは島病院の上空 600mで爆発した

●熱線
●衝撃波
●放射線

原子爆弾の三大威力、熱線・衝撃波・放射線を説明

ビル前の階段に腰かけていた会社員、その後どうなった？

誰もが驚き、感動する秘蔵映像を一挙に放映！
広島のビフォア・アフターも必見！

実施要項

実施期間と対象校

①期間・・・２０２７年３月まで
②対象校・・・東京駅から鉄道と航空機を利用して５時間以内で到着できる中学校および高校が対象

地理的、予算的に実施困難な学校は、別途案内する「映像配信」をご利用ください

＊受講者数は３００名を上限とします。
＊時間・人数の上限を超える場合は相談

授業時間

110 ～ 120 分
（休憩時間を含む）

＊休憩は 0 ～ 10 分とします

料　金

44,000 円（税込み）＋ 往復交通費
＋（宿泊が必要な場合は宿泊諸費）

①交通費…西武新宿線東伏見駅を起点とする講師１名分の往復交通費（特急券等を含めた実費）
②宿泊費…講師の宿泊が必要である場合／１泊 18,000 円
＊特別授業開始時間までに講師の当日移動が不可能な場合は前泊が必要
特別授業の終了後に講師の当日帰宅ができない場合は当日泊が必要

会　場

受講者の椅子を必ずご用意ください
（体育座りは固くお断りします）
猛暑期（７～８月）および厳冬期（１～２月）で空調設備がない会場はなるべくお避けください

＊マイク・スピーカーとプロジェクターが必須です

実施可能日

下記ホームページで「中高校対象の可能日」を参照してご検討ください

http://www.hiroshima9.com/　原爆先生　検索

特別授業のご依頼

下記のいずれかでお申込みください

①ファックス…本紙終面の「特別授業依頼書」をコピーし、必要事項をご記入いただき FAX で送付してください
②NET 申し込み…ＨＰ（下図参照）から NET でお申し込みができます
＊お申込み後３日以内に確認書を送付します

120 秒の予告映像をご覧ください

特別授業（90 ～ 100 分）の開始部分映像 15 分をご覧ください

NET で申し込みができます

NPO代表から

私共は 2008 年より対面による「原爆先生の特別授業」(以下「特別授業」) を開始し、これまで都内小学校および東京近隣の中高校、合わせて２千校以上で特別授業を実施しました。リピート率は75%以上に至っています。
2020～2022 年のコロナ禍では、多数の学校で外部講師による対面授業は禁止されましたが、原爆先生の特別授業はコロナ禍３年間でも 450 校以上の学校で実施いたしました。対面でおこなう授業であるがゆえに年間の実施数に限りがあります。上記に記載しました実施可能日を必ずご確認いただき、極力早期のお申込みをお願い申し上げます。
尚、遠隔地に所在する学校または予算に制限がある学校には、当法人のHPにてご検討ください。「映像配信」をお勧めいたします。